

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

1c929 U.S. PTO
09/823237
03/30/01

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

DATE OF APPLICATION : September 22, 2000

APPLICATION NUMBER : Patent Application 2000-288060

APPLICANT(S) : SANYO ELECTRIC CO., LTD.

February 16, 2001

Commissioner, Patent Office

Kozo OIKAWA

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

213/125
Je929 U.S. PTO
09/823237
03/30/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 9月22日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-288060

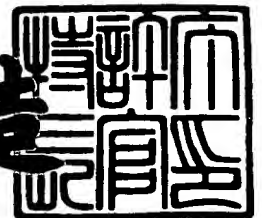
出 願 人
Applicant(s):

三洋電機株式会社

2001年 2月16日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3007875

【書類名】 特許願

【整理番号】 NKR1006047

【提出日】 平成12年 9月22日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 13/00
G06F 17/00
H04L 12/00

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通 2 丁目 5 番 5 号 三洋電機株式会
社内

【氏名】 前田 篤志

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通 2 丁目 5 番 5 号 三洋電機株式会
社内

【氏名】 筈井 隆史

【特許出願人】

【識別番号】 000001889

【氏名又は名称】 三洋電機株式会社

【代理人】

【識別番号】 100105924

【弁理士】

【氏名又は名称】 森下 賢樹

【電話番号】 0422-23-7415

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 091329

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1
【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 購入ポイント管理方法および装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザによる商品の購入に対して与えられたポイントの合計値をユーザごとに記録するポイントテーブルと、

商品とそれを購入したときに与えられるポイントとの関係を記述する商品テーブルと、

前記ポイントとその値によって前記ユーザに提供される賞品との関係を記述する交換テーブルと、

前記合計値を前記商品テーブルおよび前記交換テーブルに照らすことにより、そのユーザに対し、所定の賞品を得るために購入すべき商品の候補を提示する商品推奨部と、

を含むことを特徴とする購入ポイント管理装置。

【請求項 2】 前記候補に関する情報を保持する候補テーブルをさらに含み

、
当該候補テーブルは、前記情報に加え、前記所定の賞品を得るために組み合わせて購入すべき複数の商品の候補に関する情報を保持することを特徴とする請求項 1 に記載の購入ポイント管理装置。

【請求項 3】 前記商品推奨部は、前記候補テーブルを参照し、前記購入すべき商品とその購入タイミングを組み合わせ、それを購入モデルとして前記ユーザへ提示することを特徴とする請求項 2 に記載の購入ポイント管理装置。

【請求項 4】 前記ユーザの個人情報を保持するユーザ情報テーブルをさらに含み、

前記商品推奨部は、前記個人情報をもとにそのユーザに適切と考えられる購入モデルを前記候補テーブルから抽出して提示することを特徴とする請求項 3 に記載の購入ポイント管理装置。

【請求項 5】 前記ユーザが獲得したポイントの一部または全部を他のユーザに譲渡するためのポイント移転部をさらに含むことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の購入ポイント管理装置。

【請求項 6】 単一のユーザが別のポイント管理体系下で獲得したポイントと本装置において獲得したポイントの間でポイントの移転を図るポイント移転部をさらに含むことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の購入ポイント管理装置。

【請求項 7】 前記ポイント移転部は、本装置との間でポイントの移転が可能な前記ポイント管理体系を前記ユーザから指定可能な方法で提示することを特徴とする請求項 6 に記載の購入ポイント管理装置。

【請求項 8】 前記ユーザによる過去の購入履歴を管理し、当該ユーザが購入した商品を所定の基準にしたがって分類したうえで当該ユーザへ提示する履歴通知部をさらに含む請求項 1 から 7 のいずれかに記載の購入ポイント管理装置。

【請求項 9】 前記ポイントとの交換により前記賞品をオンラインまたはオフラインで提供する賞品提供部をさらに含み、この賞品提供部は予め前記ポイントと交換可能な単一の賞品または複数の賞品の組合せを前記ユーザへ提示することを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれかに記載の購入ポイント管理装置。

【請求項 10】 ユーザによる商品の購入に対して与えられたポイントの合計値をユーザごとに記録する工程と、

商品と、それを購入したときに与えられるポイントと、そのポイントの値によってユーザに提供される賞品との関係に前記合計値を照らすことにより、所定の賞品を得るために購入すべき商品の候補を選定する工程と、

前記選定された候補を前記ユーザに提示する工程と、

を含むことを特徴とする購入ポイント管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、購入ポイント管理技術に関する。この発明はとくに、ユーザがオンラインまたはオフラインで商品等を購入した際に与えられるポイントを管理する方法と装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来より、顧客（以下ユーザという）が商品やサービスを購入したとき、ポイントを提供する販売促進が知られている。一例として、航空会社が自社サービスのみならず、広くレストランやホテル宿泊なども含むユーザの利用に対し、ポイントをマイルに換算して蓄積するサービスを実施している。ユーザは所定のマイル数が貯まると航空券等への交換ができる。マイレージサービスほど大々的ではなくとも、やはり従来から、例えばレコードの購入に対してポイントを与えるなど、ショップ単位で、または系列店のネットワークの中でポイントサービスが活用されている。

【0003】

最近では、インターネットのWWW（World Wide Web）を利用するオンラインショッピングの急速な広がりに伴い、ポイントサービスも拡大基調にある。オンラインショッピングは場所を問わないため遠隔のユーザを獲得できる反面、近隣のユーザであっても競合ショップに奪われる危険がある。また、ユーザは自宅で商品価格等の比較が容易なため、ショップは、価格競争はもちろん、それ以外の付加的なサービスでリターン客の確保に努めなければならない。その方策として、ポイントサービスの再構築と有効活用が必要である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、オンラインショッピングサイトが激増し、各社各様のポイントサービスを導入するにしたがい、ユーザは自分の購入行為がいずれの会社のいずれのポイントに結びついているか、把握が困難になりつつある。例えば、あるショップでの買い物が他のショップでの割引にリンクしていても、それを知らずに割引サービスを逃すといった経験は、相当のユーザがしているはずである。また、せっかくポイントを貯めてきたのに、結局それでどのような賞品がもらえるか理解できなかったり、中途半端にポイントを使ってしまい、あとで後悔する経験も多いと思われる。

【0005】

こうした状況に鑑み、本発明の目的は、ユーザがポイントを有効に活用できるための支援技術の提供にある。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

本発明のある態様は、購入ポイント管理装置に関する。この装置は、ポイントテーブル、商品テーブル、交換テーブルを有する。ポイントテーブルは、ユーザによる商品の購入に対して与えられたポイントの合計値をユーザごとに記録する。商品テーブルは、商品とそれを購入したときに与えられるポイントとの関係を記述する。交換テーブルは、前記ポイントとその値によって前記ユーザに提供される賞品との関係を記述する。通常は、ポイントとの交換で賞品が与えられる。この装置はさらに、前記合計値を前記商品テーブルおよび前記交換テーブルに照らすことにより、そのユーザに対し、所定の賞品を得るために購入すべき商品の候補を提示する商品推奨部を有する。

【 0 0 0 7 】

この構成によれば、ユーザが商品を買うと商品テーブルをもとにその商品に対応するポイントが決まり、ポイントテーブルへ記録される。すでにそのユーザがポイントをもっていた場合、それまでのポイントと今回の購入によって得たポイントの合計が記録される。この後、いずれかの段階にて交換テーブルが参照され、ユーザのポイント合計値によって交換可能な賞品が割り出されるが、ユーザがさらに商品を買ってポイントを高めると賞品のランクが上がることが多い。この態様ではその点に着目し、いずれの商品を買ってどのよう賞品が与えられるか商品推奨部が検出し、購入すべき商品の候補をユーザに提示する。したがって、ユーザは必要な商品を購入しながら、ポイントの最適活用を実現できる。

【 0 0 0 8 】

前記候補に関する情報は候補テーブルに保持されてもよい。その場合、当該候補テーブルは、前記情報に加え、前記所定の賞品を得るために組み合わせて購入すべき複数の商品の候補に関する情報を保持してもよい。よりよい賞品を得るために必要なポイントの合計値（以下「目標ポイント」という）に到達するために必要な残りのポイント（以下「不足ポイント」という）を得るには、商品の購入が必要になる。その際、いくつかの商品を組み合わせて購入することにより不足

ポイントを補えるとすれば、ユーザは購入の計画が立てやすい。そのため、そのような候補を組合せで示すものである。

【0009】

前記商品推奨部は、前記候補テーブルを参照し、前記購入すべき商品とその購入タイミングを組み合わせ、それを購入モデルとして前記ユーザへ提示してもよい。ポイント制度は、通常ある期間内で得たポイントに有効期限を設ける場合が多い。そのため、購入タイミングとして、例えば「今年の11月までに購入すること」などの条件をユーザに示せば、ユーザもポイントの有効期限に神経を使わなくて済む。

【0010】

本装置はさらに、前記ユーザの個人情報を保持するユーザ情報テーブルを含んでもよく、その場合、前記商品推奨部は、前記個人情報をもとにそのユーザに適切と考えられる購入モデルを前記候補テーブルから抽出して提示してもよい。例えば、アンケートや過去の購入例からワインが好きなことがわかっているユーザにワインを勧める方法がある。

【0011】

本装置はポイント移転部を含んでもよい。ポイント移転部は、前記ユーザが獲得したポイントの一部または全部を他のユーザに譲渡したり、単一のユーザが別のポイント管理体系下で獲得したポイントと本装置において獲得したポイントの間でポイントの移転を図る。「ポイント管理体系」とは、あるショップが単独で、またはショップ間の連携でポイント制度を管理運用しているとき、その体系をいう。ポイント移転部は、本装置との間でポイントの移転が可能なポイント管理体系をユーザから指定可能な方法で提示してもよい。

【0012】

本装置はさらに、履歴通知部を有してもよい。履歴通知部は、前記ユーザによる過去の購入履歴を管理し、当該ユーザが購入した商品を所定の基準にしたがって分類したうえで当該ユーザへ提示する。分類はたとえば勘定科目など会計で利用される基準、「最近6ヶ月」のような期間、「自分用」「家族用」「会社用」のような利用予定者、「5000円以上のもの」のような購入額などを基準に行

うことができる。

【0013】

本装置はさらに、賞品提供部を有してもよい。賞品提供部は、前記ポイントとの交換により前記賞品をオンラインまたはオフラインで提供する。それに先立ち、予め前記ポイントと交換可能な単一の賞品または複数の賞品の組合せを前記ユーザへ提示する。ユーザが仮に1000点のポイントをもっていたとする。このユーザは、欲しい賞品をいろいろ組み合わせることにより、1000点の範囲なるべくポイントに無駄がでないよう苦慮する。賞品提供部によれば、そうした組合せが提示されるため、ユーザの意思決定が容易になる。

【0014】

本発明の別の態様は、購入ポイント管理方法に関する。この方法は、ユーザによる商品の購入に対して与えられたポイントの合計値をユーザごとに記録する工程と、商品と、それを購入したときに与えられるポイントと、そのポイントの値によってユーザに提供される賞品との関係に前記合計値を照らすことにより、所定の賞品を得るために購入すべき商品の候補を選定する工程と、前記選定された候補を前記ユーザに提示する工程とを含む。所定の賞品として、ユーザが希望の賞品を指定してもよく、その場合、その賞品を得るための不足ポイントを補う商品の候補が提示される。

【0015】

なお、以上の構成要素の任意の組合せ、本発明の表現を方法、装置、システム、記録媒体などの間で変換したものもまた、本発明の態様として有効である。

【0016】

【発明の実施の形態】

図1は、実施の形態に係る購入ポイント管理装置24を含むネットワークシステム10の全体構成を示す。ここでは、ユーザ端末12と購入ポイント管理サイト16がインターネット14を介して接続されている。ユーザ端末12はPC（パーソナルコンピュータ）、PDA、インターネット14へ接続可能な携帯電話、その他任意のハードウェアである。購入ポイント管理サイト16は、通常のサイトでもよいが、ユーザ端末12に対してISP（インターネットサービスプロ

バイダ)として機能してもよい。また、一般にポータルサイトとしていろいろな情報を分別管理し、ユーザの便宜を図ってもよい。以下の説明では、ユーザは購入ポイント管理サイト16をオンラインショッピング機能のあるポータルサイトとして利用する。

【0017】

購入ポイント管理サイト16は、ルータ18を介してインターネット14と情報をやりとりするWWWサーバ20とメールサーバ22、その他図示しないDNSサーバなどを含む。購入ポイント管理装置24はWWWサーバ20の内部に設けられているが、これは独立したサーバとしてもよいし、その他いろいろな形態で実現できる。

【0018】

図2は、購入ポイント管理装置24の内部構成を示す。この構成は、ハードウェア的には、WWWサーバ20のCPU、メモリ、その他のLSIの機能で実現でき、ソフトウェア的にはWWWサーバ20のメモリのロードされた購入ポイント関連機能のあるプログラムなどによって実現されるが、ここではそれらの連携によって実現される機能ブロックを描いている。したがって、これらの機能ブロックがハードウェアのみ、ソフトウェアのみ、またはそれらの組合せによっていろいろな形で実現できることは、当業者には理解されるところである。

【0019】

購入ポイント管理装置24の各処理部は通信部30を介してユーザ端末12と連絡する。記憶部44は、購入履歴テーブルT1、商品テーブルT2、ユーザ情報テーブルT3、ポイントテーブルT4、変換テーブルT5、候補テーブルT6を含む。各テーブルは後に詳述するが、概要として購入履歴テーブルT1はユーザごとに購入ポイント管理サイト16で購入した商品を記録する。商品テーブルT2はショッピングの対象となる商品の情報と、その商品を購入したとき与えられるポイントを保持している。ユーザ情報テーブルT3はユーザの個人情報を記録する。ポイントテーブルT4はユーザごとにいままで獲得したポイントの合計を記録する。変換テーブルT5は獲得ポイントと、それと交換で与えられる賞品の関係を示す。候補テーブルT6は、ユーザがワンランク上の賞品を得るために

不足ポイントを埋めることの可能な商品の候補を保持している。

【0020】

商品表示部34は商品テーブルT2から商品情報を読み出し、これをユーザ端末12の画面に表示する。購入受付部32は、ユーザからオンラインショッピングで商品の購入を受け付ける。ユーザがある商品の購入を決定すると、購入受付部32は商品テーブルT2を参照してユーザに与えるポイントを特定し、ユーザの獲得ポイント合計値をポイントテーブルT4において更新する。また、購入履歴テーブルT1にてそのユーザの購入履歴に前記商品を追加する。

【0021】

商品推奨部36は、あるユーザが自分のポイントの状況を問い合わせたとき、そのユーザに商品の候補を提示する。その候補を購入すると、ユーザのポイントが上昇し、ワンランク上の賞品が手に入る。そのために、問合せのあったユーザの現在のポイントをポイントテーブルT4から読み出し、変換テーブルT5からワンランク上の賞品に到達するポイント、すなわち目標ポイントを特定する。つぎに、その目標ポイントから現在のポイントを引いて不足ポイントを算出する。つづいて、その不足ポイントを補う商品を候補テーブルT6から選定してユーザへ提示する。このとき、そのユーザが好む可能性の高い商品を紹介すべく、ユーザ情報テーブルT3が参照される。

【0022】

ポイント移転部38はふたつの機能をもつ。第1の機能は、ユーザが購入ポイント管理サイト16を利用する他のユーザとポイントを交換するための処理に関する。第2の機能は、そのユーザが他のポイントシステム、たとえば他のオンラインまたはオフラインのショップで獲得したポイントを購入ポイント管理サイト16で獲得したポイントへ上乗せしたり、その逆の移転のための処理に関する。移転があるとポイントテーブルT4が更新される。移転にユーザ間の特別な承認関係を要求する場合、ユーザ情報テーブルT3が参照される。

【0023】

商品提供部40はユーザがポイントと賞品の交換を要求したとき、その賞品と交換されるべきポイントを変換テーブルT5で特定し、そのポイント分だけその

ユーザのポイントを減じてポイントテーブルT4を更新する。その賞品の手配と配送をバックエンドで処理してもよい。

【0024】

履歴通知部42はユーザから自分の購入履歴に対する問合せがあったとき、購入履歴テーブルT1を参照し、所定の基準で過去の購入商品を分類して提示する。

【0025】

図3は商品テーブルT2の内部構成を示す。商品テーブルT2は、商品欄60、商品番号欄62、定価欄64、ポイント欄66、詳細欄68を有する。ここでは、例えば商品として「テレビ」が挙げられ、その商品番号として「21-1234」、定価として「62000円」、購入に対して与えられるポイントとして「62点」、商品の詳細情報のページとして「www.tv.com」というURLがそれぞれ記述されている。ここでは、ポイントは1000円（端数は切り上げ）につき1点の換算である。商品は有体物に限られず、「エーゲ海クルーズ8日間」のような旅、その他のサービスであってもよい。ユーザがオンラインショッピングのためのページへアクセスしたとき、商品表示部34が商品テーブルT2から情報を読み出し、必要に応じて図示しない画像も交えて紹介する。

【0026】

図4は変換テーブルT5の内部構成を示す。変換テーブルT5は、ポイント欄72、商品欄74を有し、例えば獲得したポイントが100点になると「携帯カメラ、目覚ましラジオ、・・・」と交換できる旨が記述されている。ここでは、ポイント1点につき約50円相当の換算であり、したがって1000円の購入に対して50円の還元で、その率は5%である。

【0027】

図5はポイントテーブルT4の内部構成を示す。ポイントテーブルT4は、ユーザ欄78、ポイント合計欄80を有する。ここでは、例えばユーザ「Hana」「Taro」の獲得ポイントがそれぞれ「65点」「2922点」となっている。

【0028】

図6は購入履歴テーブルT1の内部構成を示す。購入履歴テーブルT1は、ユーザ欄84、購入商品欄86を有する。ここでは、例えばユーザ「Hana」の過去の購入商品として「浄水ポット」が記述されている。

【0029】

図7はユーザ情報テーブルT3の内部構成を示す。ユーザ情報テーブルT3は、ユーザ欄90、性別欄92、年齢欄94、職業欄96、趣味等欄98を有する。ここでは、例えばユーザ「Tarō」の個人情報として性別が「男」、年齢が「52才」、職業が「会社社長」、趣味その他が「ワイン、旅行」と記述されている。これらの情報が商品の候補紹介の際に利用される。

【0030】

図8は候補テーブルT6の内部構成を示す。候補テーブルT6は、ポイント欄100、候補商品欄102を有し、候補商品欄102は1品欄104、2品欄106、3品以上欄108を有する。ポイント欄100は不足ポイントを示し、候補商品欄102はその不足ポイントをカバーする商品の候補が記述されている。例えばあと10点獲得したいユーザは、その10点をひとつの商品で補う場合、「PC用デスク」が候補であり、ふたつの商品で補う場合、「高級そば／うどん」が候補である。不足ポイントが80点の場合、ひとつの商品で補うなら「香港3日間」「皮コート」などが候補であり、ふたつの商品で補う場合、2品欄106のA欄「スイス時計、MDプレーヤ、・・・」からひとつと、B欄「デジタルカメラ、自転車、・・・」から残りのひとつを選択できる。3以上の商品で補う場合、「ヨーロッパのティーカップ」という6ヶ月6回のシリーズや、同様に「特選・木のおもちゃ」という12ヶ月12回のシリーズを申し込むことができる。

【0031】

図9はユーザが購入ポイント管理サイト16のオンラインショッピング用ページへアクセスしたときユーザ端末12に表示される画面120の例を示す。ここでは「取扱い商品一覧」が表示され、服のカテゴリー122、家具のカテゴリー124、食品のカテゴリー126、その他が表示されている。各カテゴリーは商品レベルで細分化され、たとえば服の場合「セーター」「シャツ」などの項目が

挙げられている。ユーザはここで項目を選択することにより、希望する商品一覧のページへアクセスする。この画面120の右下には「あなたのポイント」ボタン128が設けられている。

【0032】

図10はユーザが「あなたのポイント」ボタン128をクリックしたときにユーザ端末12に表示される画面120を示す。ユーザ名欄140に「T a r o」が表示され、現在までの獲得ポイント欄142に「2922」が表示されている。また、その数値以下のポイントで得られる賞品が100点刻みで賞品欄144に表示されている。賞品欄144は変換テーブルT5から生成される。画面120の右には、「ご購入ヒント」ボタン146、「ポイント移転」ボタン148、「家計簿」ボタン150が表示されている。

【0033】

図11はユーザ「T a r o」が「ご購入ヒント」ボタン146をクリックしたときにユーザ端末12に表示される画面120を示す。状況説明欄160に、このユーザがあと78ポイント貯めると3000ポイントに到達し、イタリア高級家具その他の賞品が実現する旨が表示されている。

【0034】

商品推奨欄162には、78ポイントを貯めるために購入すべき商品の候補が表示されている。これらの候補は、商品推奨部36がユーザ「T a r o」の趣味「ワイン、旅行」を参照して候補テーブルT6から選択したものであり、第1の推奨欄164に「香港3日間の旅」が挙げられ、その期限として2000年12月までの購入が指示されている。これはポイントの有効期限、商品の企画自体の期限などを考慮している。第2の推奨欄166には「世界の高級ワイン（12ヶ月）」が挙げられ、2000年10月の開始が指示されている。第1、第2の推奨欄164、166にはそれぞれ「詳細」ボタンが設けられ、ユーザの購入意思の確定に利用される。画面120の右下には「戻る」ボタン170が設けられ、ユーザがこれをクリックすると図10の状態に戻る。

【0035】

図12は、図10の画面120にてユーザが「ポイント移転」ボタン148を

クリックしたときにユーザ端末12に表示される画面120を示す。ここでは移転可能ポイント欄180に、ユーザ「Taro」が他人に移転できるポイントとして「2922」が表示されている。この数値はユーザの現在のポイントでもよいし、予め決められた上限値でもよい。その下、移転指示欄182には、ポイントをあげるべきユーザ名とそのポイントが記述できる。ここではユーザ「Hana」に「2000」ポイント移転したい旨が記述されており、「送信」ボタンをクリックするとポイントテーブルT4が更新され、移転が完了する。

【0036】

ユーザ「Taro」は相当のポイントを貯めており、例えばその娘であるユーザ「Hana」に誕生日や卒業等のプレゼントを贈る代わりに、2000ポイントに移転し、10万円相当の自由な買い物をさせることもできる。また、孫がいるようなユーザについては、例えば前出の「特選・木のおもちゃ」を自ら購入し、その送り先を孫の住所とすることで、居ながらにして毎月おもちゃを孫に届けさせ、かつポイントを貯めることができる。そのポイントを孫またはその親へ移転することもでき、時間的にも資金的にも余裕があるが、出かけてプレゼントを送るという作業を厭う年齢層のユーザにはとくに好適なサービスである。

【0037】

移転指示欄182の下には、他人への移転ではなく、自分が獲得したポイントを他のオンラインショップで獲得したポイントへ上乗せするための領域が設けられ、そうしたサービスを望むユーザにリンク184が設けられている。

【0038】

図13は、ユーザが図12のリンク184をクリックしたときにユーザ端末12に表示される画面120を示す。ここではポイントの移転可能な提携先一覧190が「AAAオンラインマート」「BBBマイレージ」などと表示され、ユーザはそれらの中から望むポイント管理体系を選択することができる。ユーザは提携先をひとつ選択した後、右側の移転ポイント欄192に記入する。このユーザの場合、2922点まで移転可能で、それ以下の任意の数値が記入可能になっている。記入後、「決定」ボタン194をクリックすると、ポイントテーブルT4が更新され、ポイントの移転が完了する。なお、提携先とどのようなポイント比

でポイントに移転できるか、双方向移転を許すか、その他の条件については別途提携先と決めればよく、それをシステムに反映することは困難ではない。

【0039】

図14は、ユーザが図10の画面120において「家計簿」ボタン150をクリックしたときユーザ端末12に表示される画面120を示す。過去どの程度遡って履歴を見るか指定するための期間欄200が設けられ、プルダウンニュー方式で例えば「今月のみ」「3ヶ月」「半年」「1年」などの指定ができる。いま、ここでは「1年」を例示しており、このユーザの利用内容が衣料品欄202、食品欄204、娯楽費欄206などの項目で分別および表示されている。例えば、衣料品欄202はその項目の利用合計額「28600円」と購入商品「カシミアセーター」1点、「ネクタイ」2点、およびそれらの小計と購入時期が記録されている。以下、それ以外の項目も同様の詳細な内訳が記述され、最後にすべての合計額欄208に「101400円」が記録されている。したがって、ユーザはこの画面120をオンライン家計簿として利用できる。

【0040】

以上、本発明を実施の形態をもとに説明した。実施の形態は例示であり、それらの各構成要素や各処理プロセスの組合せにいろいろな変形例が可能なこと、またそうした変形例も本発明の範囲にあることは当業者に理解されるところである。以下、そうした変形例を挙げる。

【0041】

図10では、獲得ポイントと賞品の関係を示したが、このときもひとつの賞品で獲得ポイントを全部使う場合と、ふたつ以上の賞品の組合せで使う場合など、いろいろなバリエーションで示すことが望ましい。その機能は、たとえば商品提供部40に組み込むことができ、商品提供部40はユーザがポイントと交換を希望する賞品を指定する前に、賞品の組合せを提案してもよい。その際、ユーザの個人情報に基づく提案をしてもよい。

【0042】

図2では、購入ポイント管理装置24の中に商品表示部34、購入受付部32などの商品の購入自体に関する機能を盛り込んだが、それらは購入ポイント管理

装置 2 4 で実施する必要はなく、購入ポイント管理装置 2 4 はポイントの管理に特化してもよい。その場合、複数のポイント管理体系で購入ポイント管理装置 2 4 を共用することも容易になり、ポイントの相互移転、相互利用がよりスムーズになる。

【 0 0 4 3 】

【発明の効果】

本発明によれば、購入に伴うポイントをユーザがより効果的に利用することができ、購入促進効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 実施の形態に係る購入ポイント管理装置を含むネットワークシステムの全体構成図である。

【図 2】 実施の形態に係る購入ポイント管理装置の構成図である。

【図 3】 実施の形態に係る商品テーブルの構成図である。

【図 4】 実施の形態に係る賞品テーブルの構成図である。

【図 5】 実施の形態に係るポイントテーブルの構成図である。

【図 6】 実施の形態に係る購入履歴テーブルの構成図である。

【図 7】 実施の形態に係るユーザ情報テーブルの構成図である。

【図 8】 実施の形態に係る候補テーブルの構成図である。

【図 9】 実施の形態において、ユーザがオンラインショッピングを開始したときに現れる画面を示す図である。

【図 1 0】 実施の形態において、ユーザが自分のポイントを確認したときに現れる画面を示す図である。

【図 1 1】 実施の形態において、ユーザが購入の候補を知りたい場面で現れる画面を示す図である。

【図 1 2】 実施の形態において、ユーザが他人にポイントを移転する際に現れる画面を示す図である。

【図 1 3】 実施の形態において、ユーザが提携先のショップへポイントを移転する際に現れる画面を示す図である。

【図 1 4】 実施の形態において、ユーザが過去購入した商品を家計簿とし

て見るとき現れる画面を示す図である。

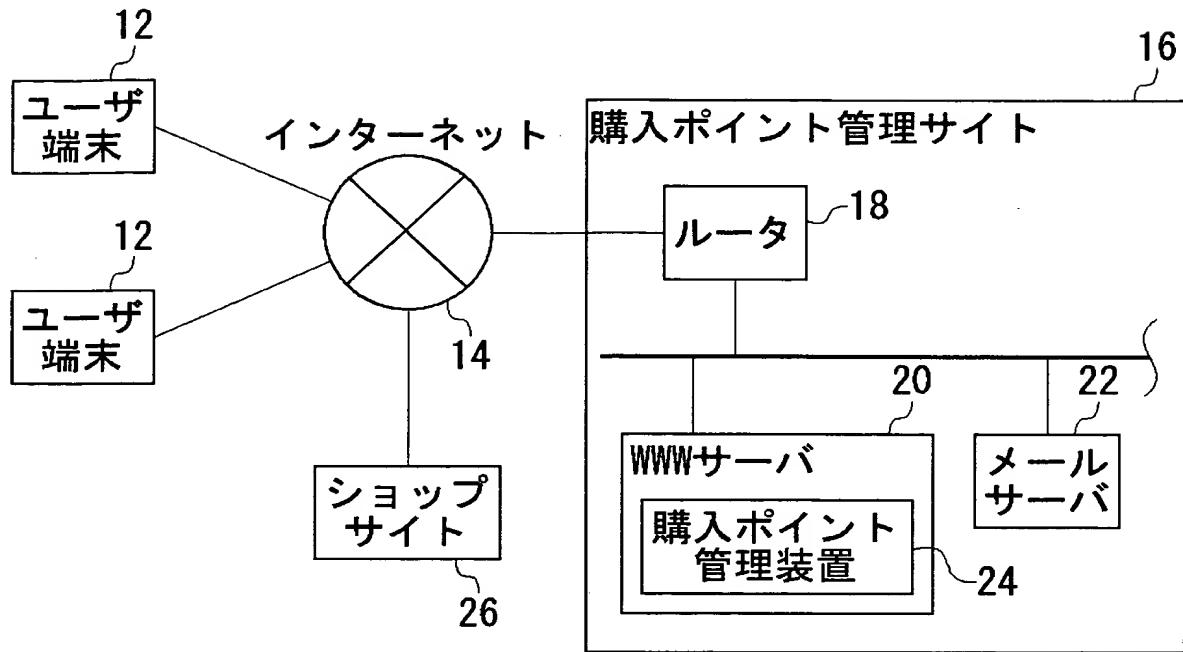
【符号の説明】

1 2 ユーザ端末、 1 6 購入ポイント管理サイト、 2 4 購入ポイント管理装置、 3 2 購入受付部、 3 4 商品表示部、 3 6 商品推奨部、 3 8 ポイント移転部、 4 0 商品提供部、 4 2 履歴通知部、 T 1 購入履歴テーブル、 T 2 商品テーブル、 T 3 ユーザ情報テーブル、 T 4 ポイントテーブル、 T 5 変換テーブル、 T 6 候補テーブル。

【書類名】

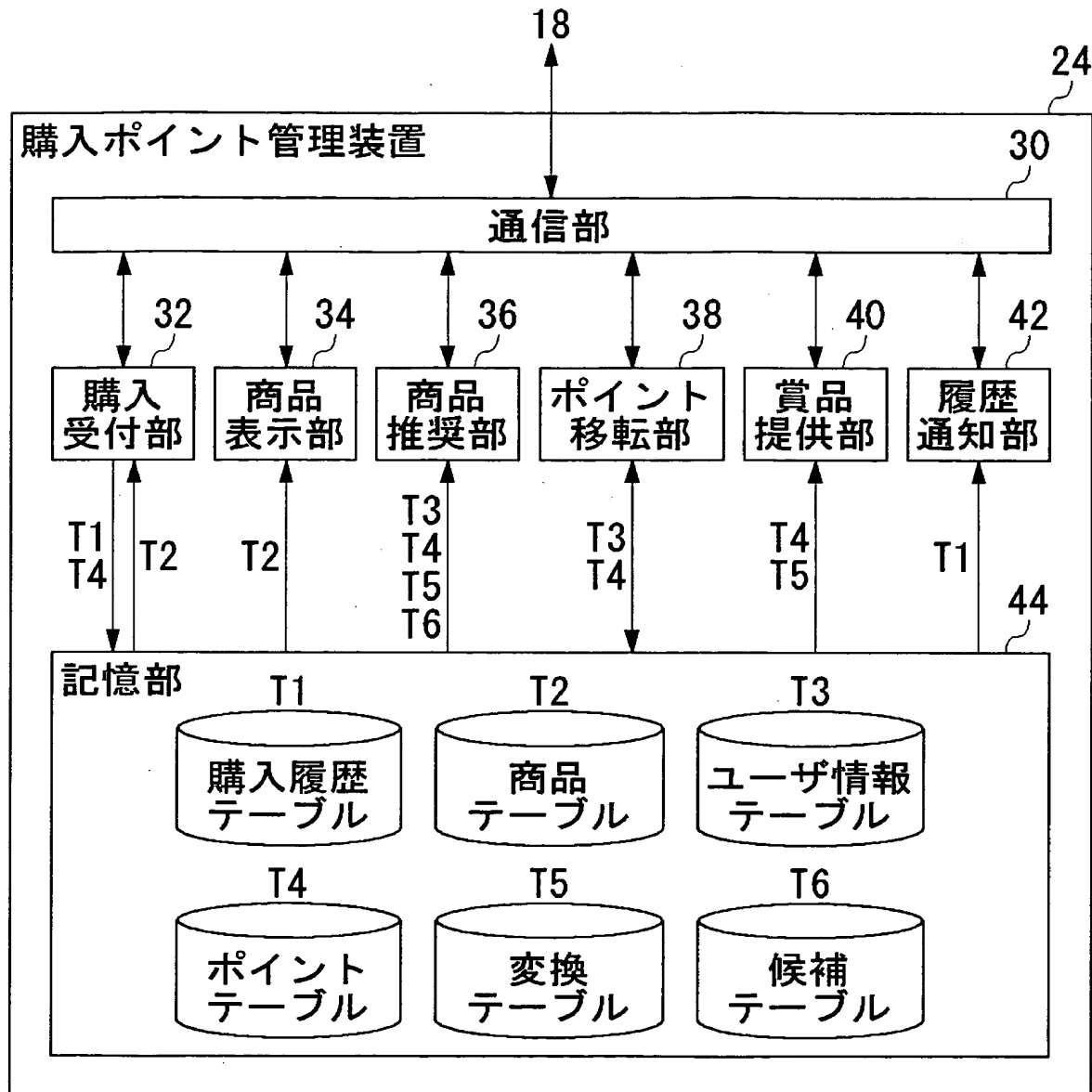
図面

【図1】



10

【図 2】



【図3】

商品	商品番号	定価	ポイント	詳細
テレビ	21-1234	62000	62	www.tv.com
皮コート	35-0307	78000	78	www.coat.ne.jp
カリフォルニア ワイン	06-3021	4800	5	www.wine.com
エーゲ海クルーズ 8日間	55-8284	346000	346	www.greece.co.jp

T2:商品テーブル

【図4】

ポイント	賞品
100	携帯カメラ、目覚しラジオ、...
200	壁掛け時計、熟成ハム、...
⋮	⋮
3000	イタリア高級家具、ハワイ6日間(2名)

T5:変換テーブル

【図5】

ユーザ 78	ポイント合計 80
Hana	65
Teru	213
⋮	⋮
Taro	2922

T4:ポイントテーブル

【図 6】

84

86	
ユーザ	購入商品
Hana	浄水ポット
Teru	ネクタイ、デスクスタンド
⋮	⋮
Taro	カナディアンロッキーの旅、高級ベッド、コンパクトカー、...

T1:購入履歴テーブル

【図7】

90	92	94	96	98
ユーザ	性別	年齢	職業	趣味等
Hana	女	21	会社員	旅行、音楽
Teru	男	26	デザイナー	車、PC
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
Taro	男	52	会社社長	ワイン、旅行

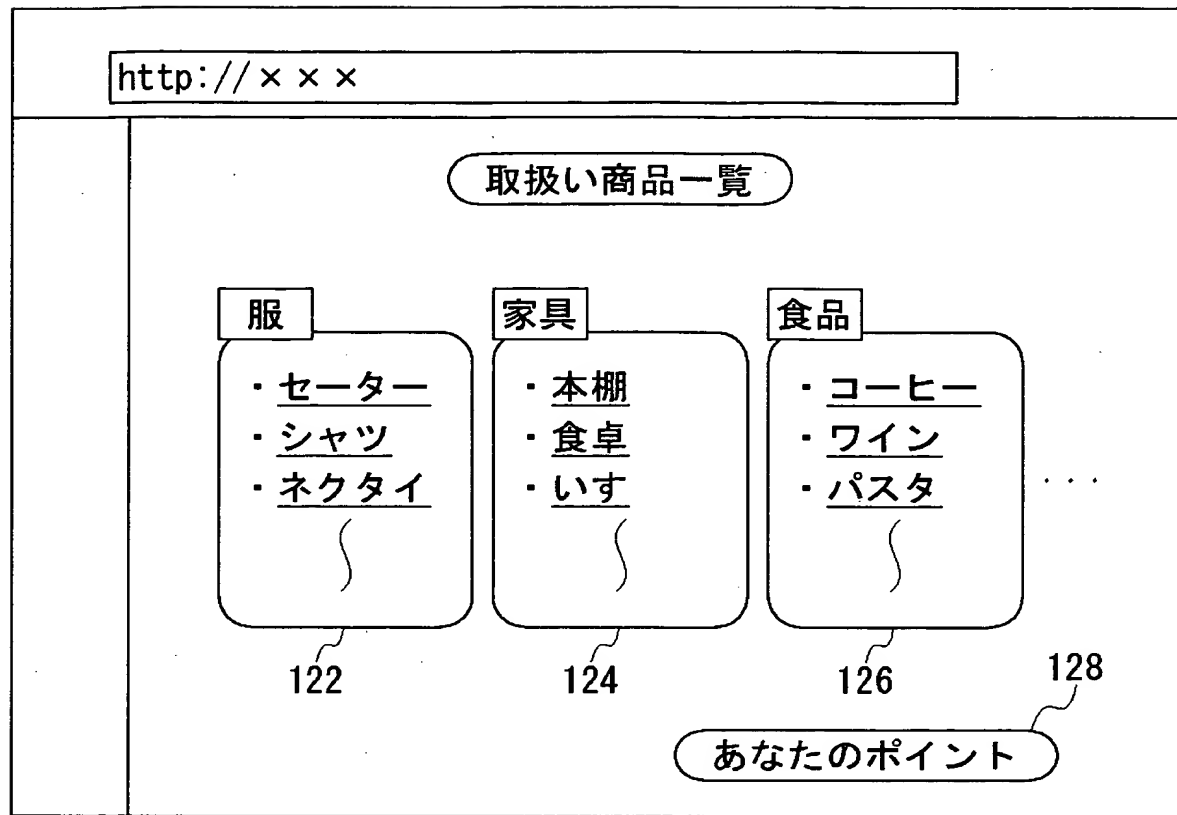
T3:ユーザ情報テーブル

【図 8】

100		104		102		106		108
ポイント		1品		候補商品		2品		3品以上
10		PC用デスク		高級そば/うどん		—		—
20		カシミアセーター		チェスト/本棚		毎月の花(12ヶ月)		毎月の花(12ヶ月)
⋮		⋮		⋮		⋮		⋮
80		香港3日間 皮コート 英会話セット ⋮		A スイス時計 MDプレーヤ ⋮		B デジタルカメラ 自転車 ⋮		ヨーロッパのティーカップ(6ヶ月) 特選・木のおもちゃ(12ヶ月) 世界の高級ワイン(10ヶ月) ⋮

T6:候補テーブル

【図9】



【図 10】

http://×××

Taro さま

140 あなたのポイントは現在 2922 です。
交換可能な賞品は以下の通りです。

{

ポイント	賞品
100	携帯カメラ…
200	壁掛け時計…
⋮	⋮
2900	有名画家リトグラフ…

142

146 ご購入
ヒント

148 ポイント
移転

150 家計簿

120

【図 1 1】

http://x x x	
	<div> <div>Taro</div> <div>さま</div> <div>あと</div> <div>78</div> <div>ポイントで</div> <div>3000</div> <div>ポイント。</div> </div> <div> <div>イタリア高級家具、ハワイ6日間(2名)...</div> <div>と交換可能です！</div> </div>
	<div> <div>78</div> <div>ポイントを貯めるには...</div> </div> <div> <div>① 2001年12月までに</div> <div> <div>香港3日間の旅</div> <div>を購入</div> <div>詳細</div> </div> </div> <div> <div>② 2000年10月から</div> <div> <div>世界の高級ワイン(12ヶ月)</div> <div>を購入</div> <div>詳細</div> </div> </div> <div> <div>③ <u>その他はこちら</u></div> </div>
	<div>戻る</div>

120

【図 1 2】

http://×××	
	<div> <div>Taro</div> <div>さま</div> </div> <div> <div>他のお客様へ移転可能なポイントは</div> <div>2922</div> <div>点です。下欄へご記入下さい。</div> </div> <div> <div>182</div> <div>{</div> <div> <div>Hana</div> <div>さまへ</div> <div>2000</div> <div>点あげる</div> </div> <div>送信</div> </div> <div> <div>※ 他のオンラインショッピングで貯めたポイントをご自分のために移転されるときは、<u>こちらを</u>ご覧下さい。</div> <div>184</div> <div>170</div> <div>戻る</div> </div>

120

【図 13】

http://×××

ご自分のポイントを移転される方へ

提携先一覧

- ・ AAAオンラインマート
- ・ BBBマイレージ
- ・ CCCレコード

190

2922 点のうち

点を移転

192

決定 194

▲上記より1つ選んで下さい。

170

戻る

120

【図 14】

http://×××

200

最近 1年 ▽ 間のご利用内訳です。

202

1

衣料品 ... 28600円

カシミアセーター	1	18000円	2000/4
ネクタイ	2	10600円	1999/12

204

2

食品 ... 0円

206

3

娯楽費 ... 72800円

Gum 4日間	1	72800円	2000/2
---------	---	--------	--------

208

以上合計101400円のご利用です

戻る

170

120

13

出証特 2001-3007875

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 購入に対して与えられるポイントの有効活用はユーザにとって非常に煩瑣な作業である。

【解決手段】 購入ポイント管理装置24はオンラインショッピングサイトに内蔵され、インターネットを介してユーザと通信する。ユーザが商品の購入によって得たポイントはポイントテーブルT4へ記録される。ユーザがワンランク上の賞品を得るために不足しているポイントから逆に、購入すべき商品の候補が選定され、商品推奨部36がユーザに提案する。ユーザ間でポイントに移転するポイント移転部38、ユーザに家計簿の機能を提供する履歴通知部42などを含む。

【選択図】 図2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001889]

1. 変更年月日	1993年10月20日
[変更理由]	住所変更
住 所	大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号
氏 名	三洋電機株式会社